

# 民主あいち PRESS MINSHU 県政レポート

編集 民主党愛知県議員団(議会報告編集委員会)

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1-2 愛知県庁内  
代表電話 052-961-2111 Fax. 052-961-3766  
HP: http://www.minshu-aichi.com/

発行 県議会議員 長江正成 事務所

〒489-0881 瀬戸市熊野町83番地の8(尾張瀬戸税務署南隣)  
TEL (0561) 85-5195 FAX (0561) 82-1375  
E-mail: masanari@nagae.info URL: http://www.nagae.info

2015年7月号 愛知県6月定例県議会特集

本レポートは、政務活動費の広報費の一部充当して作製・配布しています。  
ご意見・ご要望をお寄せください。

## 塚本新体制がスタート

### 民主32名の会派へ躍進

愛知県議会6月定例議会は、6月18日～7月7日に開かれ、総額9億5千万余円の補正予算案、条例改正案、副知事の選任や名誉県民の選定などの議案を可決、成立させました。

補正予算には、「ハート・オブ・ジャパン」を掲げ、海外での愛知の知名度の向上や訪日外国人の誘客事業、ラグビーワールドカップ2019の開催準備費、交通事故抑止に向け、600km相当の停止線等の塗り直し費が含まれています。条例改正では、より安心して公園を利用できるよう、ドローン飛行等、危険行為を禁止する愛知県都市公園条例改正他10件。吉本副知事に代えて、厚生労働省課長の堀井奈津子氏を選任、名誉県民にノーベル物理学賞受賞者の赤崎勇氏と天野浩氏を選定しました。

5月25日の臨時議会では正副議長を始め役員構成、委員会配属などを決定しました。民主党愛知県議員団では塚本久県議(名古屋市北区、10期)を団長に選出、新しい役員体制がスタートしました。(4面に一覧表)



愛知県議会議員  
(瀬戸市選出)

# 長江正成

AICHI-NAGOYA



“Heart” of JAPAN  
~Technology & Tradition

（要旨は内面参照）皆様の声をともに日々の活動に力を入れますので、今後とも、ご協力とご支援をお願いいたします。

### 県民の幸せにつながる愛知の実現

私は2期8年間で全ての常任委員会を経験させていただきましたが、3期目の本年は観光局が加わった振興環境委員会に配属となりました。環境問題から観光・交通網まで全般にわたる、その取り組みが県政に反映されるよう活動していきます。

6月24日(水)に一般質問を行いました。内容の一部は新聞報道がされましたが、「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約」を日本は2004年6月に批准して締約国の一員となっており、日本は2006年度禁煙治療への保険適用、2010年のたばこ税・価格の大幅値上げ以外は見られるべきものはないといわれています。政府と同じように愛知県が「タバコ後進県」と言われたいという受動喫煙対策と未成年の喫煙問題に対して県当局に強く実行するよう求めさせていただきます。

(要旨は内面参照)皆様の声をともに日々の活動に力を入れますので、今後とも、ご協力とご支援をお願いいたします。

## 平成27年度 民主党愛知県議員団議会役員等

### 民主党愛知県議員団役員

団 長	塚 本 久	副 団 長	高 木 ひ る し
幹 事 長	安 藤 と し き	副 幹 事 長	か じ 山 義 章
総 務 会 長	永 井 雅 彦	副 総 務 会 長	河 合 洋 介
政 策 調 査 会 長	森 井 元 志	副 政 策 調 査 会 長	久 野 哲 生
監 事	福 田 喜 夫	監 事	嶋 口 忠 弘

### 委員会配属(民主枠)

常任委員会	総務県民(4)	副委員長 西久保ながし	理事 安藤としき	西川厚志	福田喜夫
	振興環境(4)	理事 高木ひろし	塚本久	長江正成	黒田太郎
	健康福祉(4)	副委員長 樹神義和	理事 中村すすむ	小山たすく	大嶽理恵
	産業労働(4)	委員長 水谷満信	理事 中村友美	森井元志	朝倉浩一
	農林水産(4)	委員長 天野正基	理事 黒川節男	谷口知美	嶋口忠弘
	建設(4)	理事 高橋正子	浅井よしあか	永井雅彦	河合洋介
	文教(4)	委員長 久野哲生	理事 富田昭雄	鈴木純	安井伸治
	警察(4)	副委員長 佐波和則	理事 カジ山義章	日比たけまさ	鳴海やすひる
議会運営委員会(4)	副委員長 中村すすむ	理事 安藤としき	理事 永井雅彦	塚本久	
特別委員会	中京大都市圏形成調査(5)	理事 安藤としき	森井元志	西久保ながし	樹神義和
	産業振興・環境対策(4)	委員長 高橋正子	理事 中村すすむ	永井雅彦	嶋口忠弘
	安全・安心対策(4)	副委員長 浅井よしあか	理事 カジ山義章	河合洋介	黒田太郎
	人づくり・福祉対策(4)	理事 中村友美	久野哲生	日比たけまさ	大嶽理恵
一部事務組合	文化・スポーツ・観光振興対策(4)	副委員長 鈴木純	理事 高木ひろし	谷口知美	福田喜夫
	競馬(3)	副議長 富田昭雄	西川厚志	小山たすく	
	競輪(3)	水谷満信	天野正基	鳴海やすひる	
名古屋港(5)	企画総務副委員長 長江正成	塚本久	黒川節男	佐波和則	安井伸治

皆様から頂いた貴重なご意見を  
これからも愛知県政に  
反映してまいります。

地域のこと、行政に関すること、  
ご相談は長江正成事務所にお寄せください。

- ◎道路・河川・警察・県営住宅など行政に関すること
- ◎子育て・高齢者・障がい者福祉に関すること

★ご友人の方で県政レポートが届いていない方がおみえであったり、  
万一宛先等に誤りがありましたらお手数ですが、ご連絡下さい。

お名前 \_\_\_\_\_

ご住所 \_\_\_\_\_

TEL 85-5195 FAX 82-1375

## 愛知県議会議員 長江正成事務所

〒489-0881 瀬戸市熊野町83番地の8  
(尾張瀬戸税務署南隣)

TEL (0561) 85-5195

FAX (0561) 82-1375

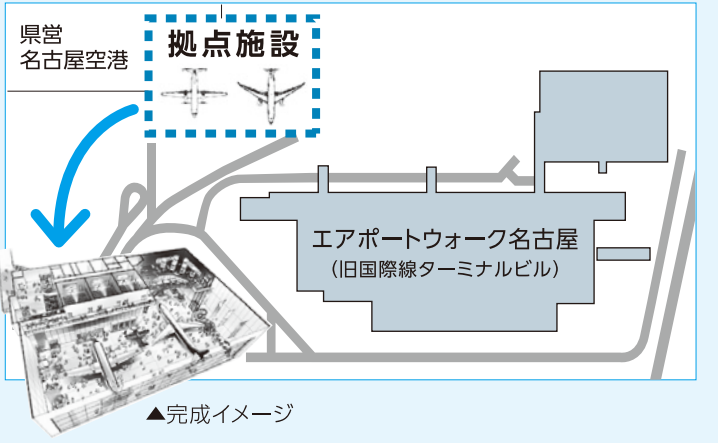
E-mail: masanari@nagae.info

URL: http://www.nagae.info



# MRJの量産に合わせて 航空機見学者の 受入施設を整備

5月臨時議会で、県営名古屋空港の航空機をテーマとした見学者の受入拠点施設を整備する予算が可決した。同空港周辺には、国産初のジェット旅客機(MRJ)の量産工場やJAXAの飛行研究施設、航空自衛隊基地など航空関連施設に加え、学校教育、社会教育といった人材育成の場、産業観光の場を目指し、その中核となる航空機見学者の受入拠点施設を平成29年度中頃の供用開始で整備し、空港全体を「フィールドミュージアム」として活用する。また、国道41号からのアクセス道路となる空港中央線の4車線化整備を行う。



## 民主党「一般質問から」

### 子どもへの貧困への取り組みと 自転車安全対策について



高橋正子議員  
(一宮市、4期)

家庭の増加にある。母親の平均年収は185万1千円で家計は苦しく、食事は一日一回「給食」のみと、食べることもままならない子どももいるという現状を示し「食」への支援を求めた。県は「子どもの貧困対策推進計画」を策定し、学校を拠点に貧困の子供たちを適切に福祉機関につなげていくとともに、フードバンク活動など民間の力を借りて積極的に貧しい

### 第4次産業革命—新産業労働計画 策定に向けて



鈴木純議員  
(稲沢市、3期)

世界的な新たな潮流であり、製造業への依存度が高いドイツ、ITの巨人といわれるアメリカ、新興国のインドなどがしのぎを削っている第4次産業革命…IoT(Internet of Things)について、県は生産工程の情報化や高度化を促進しており、ロボット産業を内需型新産業育成プロジェクトの一つとして位置付け、製造・物流等分野でのロボット導入を一層進めるためのワーキンググループを設置する考えを示した。大村知事からは、リニア、MRJ、FCVと日本の未来をつくるプロジェクトが動き出しており、これを成功させ愛知の力を更に高めることで次代を担う若者、女性の魅力ある雇用の場をつくることが重要と考え、新計画に取組むと力強い表明があった。

### 「知の拠点あいち」の成果と 受動喫煙防止対策



長江正成議員  
(瀬戸市、3期)

研究成果に関する。県は13機種が商品化され、経済効果は1,400億円となる。知事は今回のプロジェクト終了後の産学行政が連携した今後の取組は、世界の一步先を行く新たな付加価値の高いモノづくりや本県産業の競争力をさらに強化する取り組みと産業界のニーズを踏まえた具体的な検討を進める決意を表明した。受動喫煙防止対策として県有施設の全面禁煙化を目指す決意と、未成

### 中小企業支援策および 商店街振興策を問う



黒田太郎議員(名古屋千種区、1期)は、「あいち中小企業応援ファンド」、「商店街振興策」、「経営支援と一

体となった金融支援」の三政策に関する現状と広報への取り組みを質した。「あいち中小企業応援ファンド」については、基金造成時から昨年度までの7年間に採択した案件は280件、交付決定額は7億3,277万円余となっており、今年度も順調に採択、交付決定を行っている」と答弁。

### 福祉の先進都市、 愛知を目指せ!



安井伸治議員(名古屋市中区、1期)は、介護福祉人材確保に向けて、生活相談員要件に民生委員経験を含めるべきではとの考えを示し県の対応を求め、県は10年後の介護福祉人材不足解消のためにも、関係団体の意見を伺いながら検討していくと考えを示した。

また、救急車不適正利用や高齢化社会に向け、救急搬送需要増加がさらに見込まれる中、南海トラフ地震などの広域災害対策も含め、民間救急車の活用やコールセンターの設置を求めた。県は8年間で119番通報から病院等への搬送まで3.7分の遅延が起きていることを踏まえ、活動の継続・強化と広域災害対策として事業者との協定の締結も含め研究していくとの考えを明らかにした。

さらに子宮頸がんワクチンの副反応に対する考えを質し、県は名古屋市中心となつている協力医療機関の地域偏在を無くすべく、県内すべての総合病院に受入れ対応のアンケート調査の実施を明言した事を受け、医療機関の副反応に対する無理解を正すことも県に要望した。

### 民主党代表質問から



永井雅彦 総務会長  
(刈谷市、2期)  
(6月22日、本会議)

### 「あいちの成長戦略」について

Q 「日本、元気な愛知づくり」に向け、成長戦略をどの様に考えているのか?

知事 わが国の持続的な発展のためには、東京一極集中に歯止めをかけていくことが不可欠であり、日本一の産業県である愛知こそが先頭に立ち、その役割を果たしていかなければならない。

愛知では、リニア中央新幹線・国産初のジェット旅客機MRJ・世界初の燃料電池自動車FCVといった日本の未来をつくるプロジェクトが既に動き出しており、これらに加え、観光も新たな戦略産業と位置づけ、産業・経済をさらに強くすることで、若者や女性など多くの人の働く場をつくり、その事でさらに地域を元気にするという好循環を実現していきたいと考えている。

### 「モノづくりを支える 基幹道路網の整備」について

Q モノづくり産業を支える幹線道路の整備について、どの様に考えているのか?

知事 本県に拠点を置くモノづくり産業はグローバルに企業活動を展開しており、国内外を結ぶ物流インフラは、企業の競争力を維持・向上させる上で不可欠な基盤であると認識している。

そのため、西三河地域においては衣浦港の機能強化とともに、新東名の開通に合わせたインターアクセス道路の整備等に取り組んでいるが、近年では生産拠点が西三河を越えて知多地域にも広がりをみせている事から、両地域の連携強化も重要な課題となっている。従って、衣浦大橋周辺での渋滞対策や老朽化した橋梁の架け替えなど、既設橋の有効活用を図るとともに、新たな橋梁計画も視野に入れつつ、まずは、交通実態の把握や概略ルートなどの調査に着手し、将来の交通需要に備えていきたい。

### 【空の質問】

#### 「民間活力を活かした 待機児童解消対策」について

Q 本県の特徴でもある産業集積が進む工業団地内において、民間活力を活かした共同利型の企業内保育所の設置を支援する必要があるのではないか?

知事 本県が今後も持続的に発展していくためには女性の活躍促進が不可欠であり、仕事と家庭の両立を支援する保育環境の充実が何より重要である。

本年4月より「子ども・子育て支援新制度」がスタートしたが、新制度では事業所内保育は国・県及び市町村による補助対象に位置づけられた事から、県としては事業所内保育を促進する。そのために、県内企業等約5000社に対して事業所内保育に関する実態調査を行い、事業主の方々に共同利型も含めた事業所内保育の設置をしっかりと働きかけ、今後も民間の力をお借りしながら保育環境の充実に努め、「日本一子育てしやすいあいち」の実現に向け、社会全体で子育てを応援していく。

詳しくは愛知県議会ホームページ  
<http://www.pref.aichi.jp/gikai/>